

欧州のディフューズデバイス確認ガイダンスについて

- 欧州委員会は、台上試験時以外における排出ガス低減装置の機能低下制御に関する評価方法及びサーベイランスの実施方法をガイダンスとして示した。
- このガイダンスは、partA及びpartBで構成されており、概要は以下のとおり。



【partA】 排出ガス低減装置の機能低下・停止制御に関する評価

1. 保護制御にかかる排出量の増加は最小限であること
2. 対応可能な技術が存在する場合は、それを用いること
3. エンジン等の損傷を防止するための制御は、それが実験結果等により実証されており且つ文書化されていること
4. 安全な運行を確保するために行う制御は、その制御を行わない場合における危険性について技術的な評価が行われていること

【partB】 サーベイランスにおける無効化装置の確認方法

〈概要〉

- 無効化装置の有無を確認するにあたっては、一般的な条件下で様々なテストを行う必要があるが、その条件は一定とすべきではなく、予測できない性質を保つ必要がある

〈車両の選定方法〉

- 市場における占有率、排出基準、燃料、後処理装置及び環境性能について考慮すること
- RSD (Remote Sensing Devices) 等を活用することにより、高い排出量を示す車両が判明すれば有効な手段となり得る